

①嘉瀬さん最後の正三尺玉1発目「黄金すだれ小割り雪模様」(平成18年8月4日) ②白菊(令和5年8月1日) ③市民大賞受賞を受けインタビューに答える嘉瀬さん(平成28年4月13日) ④嘉瀬さんが考案した「ミラクルスターメイン」(平成12年8月2日) ⑤ナイアガラと正三尺玉(平成11年・鷲尾一夫さん撮影) ⑥嘉瀬さん最後の正三尺玉2発目「紅玉錦」(平成18年8月4日) ⑦市民大賞贈呈式で脇野町小学校の児童から祝福を受ける嘉瀬さん(平成28年4月27日)

★嘉瀬さんが花火づくりに込めた思いを取材した記事や動画をご紹介します。ぜひご覧ください。

▶市政だより
平成25年8月号



▶市民大賞受賞
記念インタビュー



ありがとう 嘉瀬誠次さん 花火で多くの 人々に感動を 与える



平和への思い

昭和18年に出兵し、終戦から3年にわたるシベリア抑留を経て帰郷した嘉瀬さん。「生きて帰れなかった戦友のために菊のように真っ白な花火を手向きたい」と、平成2年にロシア・ハバロフスクで花火を打ち上げました。この花火「白菊」は、慰霊と平和を願う長岡花火の象徴となり、多くの人の心を動かししました。

嘉瀬さんは「白菊を見る人には、戦争で亡くなった大勢の方の冥福を祈る気持ちで、少し哀愁を帯びた静かな開き方を見てほしい」と話していました。



長岡花火の発展に大きく貢献した花火師の嘉瀬誠次さんが昨年12月14日、逝去されました。101歳でした。嘉瀬さんは14歳で花火師の道に進みました。昭和26年、父・誠喜さんと共に戦後初めて「正三尺玉」の打ち上げに成功。長生橋の美しさを生かした「ナイアガラ」や慰霊の花火「白菊」、5カ所から一斉に打ち上げる「ワイドスターメイン」など、数多くの花火を生み出しました。84年ロサンゼルス五輪の閉会式でも打ち上げ、平成28年には長岡市民大賞を受賞しました。長岡の花火を世界に誇るまちの宝に育て、多くの市民に希望と感動、誇りを与えた嘉瀬さん。心よりご冥福をお祈りします。

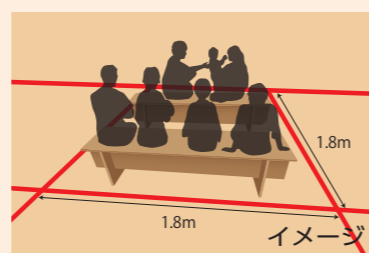
一般販売チケットの価格を改定します

会場設営費や警備員配置などの安全対策費の増加に伴い、一般販売チケットの価格を見直します。安全な大会運営のため、ご理解をお願いします。

- 市民先行販売チケット…価格据え置き
- 一般販売チケット…40%程度値上げ

右岸(長岡駅側)にベンチ式マス席を新設

右岸のマス席の一部を、最大4人が座れるベンチを2台設置した「ベンチ式マス席」にします。6~8人での利用がおすすめです。



エリア席の一部をブロック指定席に

来場者の屋外での待ち時間を減らし、熱中症を予防するため、エリア席の一部を区割りしたブロック指定席にします。来場者は指定された区画(ブロック)内で観覧します。



チケット販売などの最新情報は長岡花火財団ホームページで



◀ナッチャン

観覧席チケット販売抽選申し込みスケジュール

4月10日水
~
4月30日火

市民先行販売

受付方法/
専用はがきのみ
※専用はがきは市政だより4月号と同時配布
▶当選のお知らせは5月下旬以降

5月下旬

一般販売

受付方法/
インターネットのみ
▶当選のお知らせは6月中旬

申し込みは4月号と同時配布の専用はがきで

市民先行販売抽選申し込み 4/10水から

8月2日(金)・3日(土)に開催する長岡まつり大花火大会の会場内での観覧には、チケットが必要です。市民が優先的にチケットを購入できるよう、4月10日から先行販売を行います(左表)。世界一マナーの良い花火大会の実現へ、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

長岡まつり大花火大会
開催情報
長岡花火財団 ☎39・0823